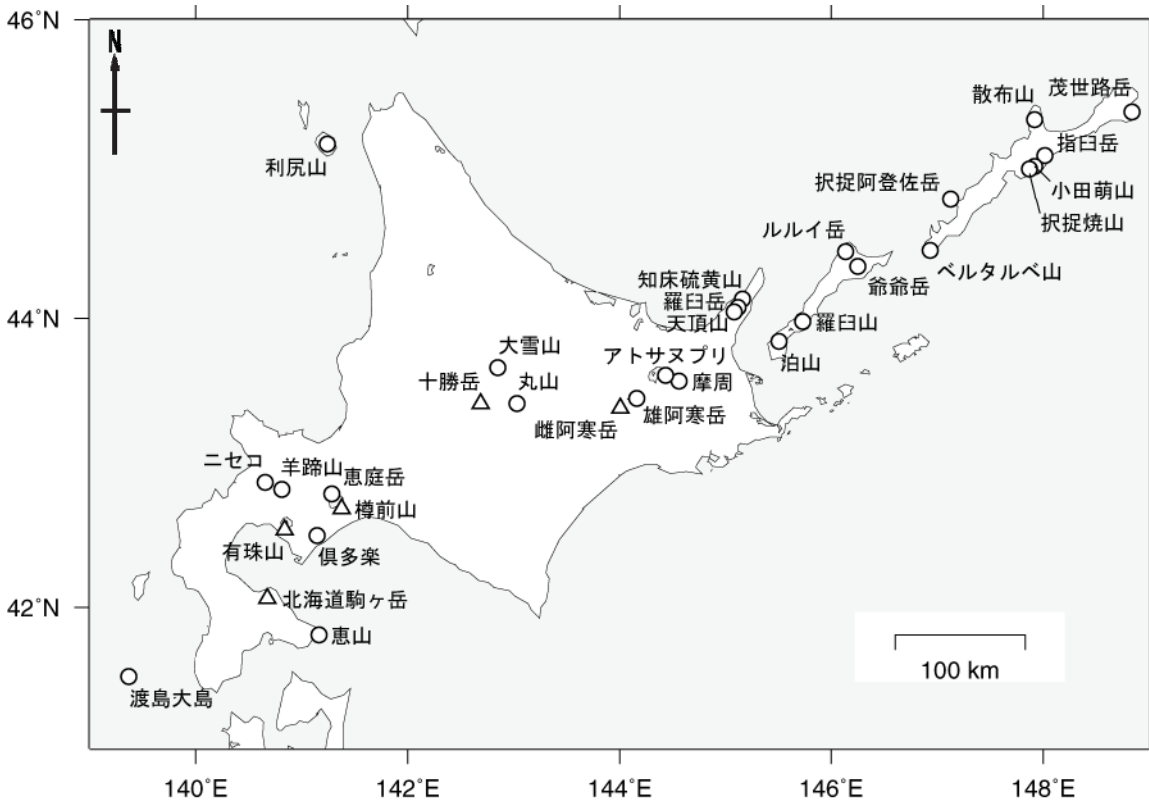


管内月間火山概況（平成24年6月）

札幌管区気象台
火山監視・情報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（6月30日現在）

| 警報・予報 | 噴火警戒レベル及びキーワード | 該当火山 |
|-------|----------------|--|
| 噴火予報 | レベル1（平常） | 雌阿寒岳、十勝岳、樽前山、有珠山、北海道駒ヶ岳 |
| | 平常 | 知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、アトサヌプリ、雄阿寒岳、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、倶多楽、羊蹄山、ニセコ、恵山、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山 |



凡例
 噴火警戒レベル導入火山 ▲：噴火警報発表中 △：噴火予報発表中
 噴火警戒レベル未導入火山 ●：噴火警報発表中 ○：噴火予報発表中

※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山に導入しています。

この管内月間火山概況は札幌管区気象台のホームページ(<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。

この資料は気象庁の他、国土交通省北海道開発局、国土地理院、北海道大学、独立行政法人防災科学技術研究所、独立行政法人産業技術総合研究所、北海道、地方独立行政法人北海道立総合研究機構地質研究所及び森町のデータも利用して作成しています。

次回の管内月間火山概況（平成24年7月分）は平成24年8月7日に発表する予定です。

各火山の活動状況及び予報警報事項

主な火山の活動状況は以下のとおりです。予報警報事項に変更はありません。

知床硫黄山 [噴火予報（平常）]

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

羅臼岳 [噴火予報（平常）]

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

天頂山 [噴火予報（平常）]

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

アトサヌプリ [噴火予報（平常）]

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

雌阿寒岳 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

大雪山 [噴火予報（平常）]

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

十勝岳 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

30日夜から、大正火口付近が高感度カメラで明るく見える現象が観測されました。この現象は高温のガス噴出や硫黄燃焼等によるものと推定され、規模を小さくしながら、7月4日までの夜間に観測されました。この現象に伴い、大正火口から噴出した火山ガスが十勝岳北西斜面を一時的に流下して山麓の望岳台付近まで達しました。

火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、大正火口や62-2火口付近には近づかないよう注意してください。十勝岳では、2006年からみられている62-2火口直下浅部の膨張を示す地殻変動は現在も続いていますので、火山活動の推移に注意してください。

樽前山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

地震活動は消長を繰り返していますが、噴煙活動は概ね静穏に経過しており、地殻変動にも特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

A火口、B噴気孔群及びH亀裂では高温の状態が続いていますので、突発的な火山ガス等の噴出に注意してください。

倶多楽 [噴火予報（平常）]

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

有珠山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

北海道駒ヶ岳 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

恵山 [噴火予報（平常）]

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報警報事項に変更はありません。